

題字は松井岳洋筆

No.420
平成25年9月

発行
(公社) 日本詩吟学院 認可
碩心会

発行者 内山岳青
編集者 伊藤岳光

神奈川県藤沢市辻堂東海岸 1-7-28
Tel/Fax.0466-33-2228

URL <http://sekishin.holy.jp>

漢詩の魅力を知って半世紀

顧問 加藤 岳洵



詩を黒板に書いて解説
してくれました。中国漢詩
の奥深い魅力を学ばせ
たかったです。

ある日黒板に書かれ

た「故人西のかた黄鶴樓を辞し……季白の詩を繰り返し音読したが、何とも歯ギレの良い簡潔なりズム感、その心地よさ、漢詩ってイイナーーと思ったことを覚えている。私の父は九人兄弟の長兄で、三番目の叔父は戦前横須賀海軍工廠に勤務する傍ら、職場で習った詩吟を度々聞かせてくれた。ある正月親戚

の集まりの席で吟じてくれたが、ふと中学生の時漢詩を音読したあの感慨が甦ってきた。いつか詩吟を習いたいものだと思いつつ、就職した電気メーカーの大船工場で職場の同僚から勧められ二つ返事で入門したのが「吟亮流」だ。昭和37年に初段を認許されたが、東京の青山に転職したため断念した。しかし、折角志した道であり自ら碩心会の門を叩いたのが昭和38年2月。間もなく紫舟流詩舞の初代小林紫舟先生とのご縁を得て、先生の女学校（熊本八代市）の友人である有馬信代先生（詩吟の大家でNHKで放送もした）の指導を頂く機会に恵まれて、吟詠のコツ・節調・間の取り方・感情表現法など詩吟の真髄を伝授して貰ったことは私の詩吟人生の宝として、今も時折当時の稽古テープを聞きながら原点を確認している。吟道を志して半世紀が過ぎ、数カ月で喜寿を迎えるが老いてこそ人生。今まで生きてきた人生の味わい、人生観を添えて、人をして魂を揺さぶり感動を与える吟詠の研鑽に挑戦し続けたい。

行事予定

レッツ詩吟

日時 10月19日(土) 午後1時～2時30分
12月14日(土) 午後1時～2時30分
場所 葉山町立図書館ホール
(日時は変更あり)

鎌倉市詩吟舞連盟秋季大会

日時 10月27日(日) 開会9時50分
場所 レイウエル鎌倉

神静地区吟道講座

日時 11月10日(日) 開会10時
場所 三島市民文化会館

葉山町文化祭

日時 11月17日(日) 開会12時30分
場所 葉山町福祉文化会館ホール

第6回相州岳風連合吟詠大会

日時 11月23日(土) 開会9時30分
場所 葉山町福祉文化会館ホール

逗子市詩吟舞連盟秋季大会

日時 11月26日(火) 開会9時
場所 逗子市文化プラザなぎさホール

碩心会吟詠と詩舞の集い

日時 11月30日(土) 開会10時15分
場所 葉山町福祉文化会館

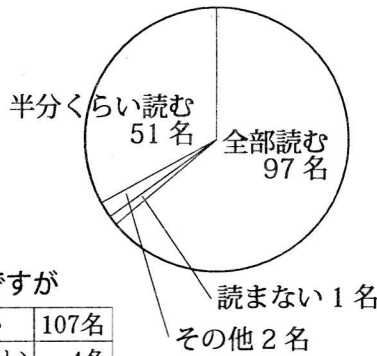
碩心会皆伝会

日時 12月7日(土)
場所 葉山港管理事務所3F

2、どの内容を主に読みますか、複数回答でお願いします

| | |
|---------|------|
| トップ記事 | 105名 |
| 行事予定 | 100名 |
| 行事・活動報告 | 102名 |
| 昇伝段位認 | 24名 |
| 支部紹介 | 73名 |
| 会員の動き | 63名 |
| 編集後記 | 59名 |
| その他 | 12名 |

1、機関誌「碩心」をどのくらい読みますか



・配布数 198名 (小学生2名を除く)
 ・回答数 152
 ・回答率 76.8%

「碩心」及び「ホームページ」に関するアンケート調査結果

3、「碩心」の発行は奇数月の年5回ですがいかがですか

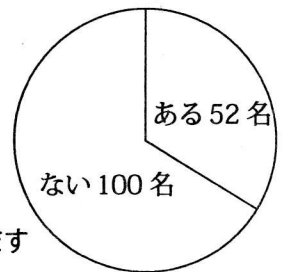
| | |
|----------|------|
| 今の回数で良い | 107名 |
| 増やした方が良い | 4名 |
| 減らした方が良い | 11名 |
| 分からない | 11名 |

碩心会全会員に対するこの種のアンケート調査は初めてのため、どのような結果になるか心配しましたが回答者152名中「半分くらい読む」という方を含めると148名の方が読んでくださっている事が判明し喜びと同時に責任を感じています。ホームページに関しては「見たことがある」という方は52名と少ないが、今後の碩心会発展のためにはホームページの内容の充実を図り、若い会員の獲得に繋げて

「ある」と答えた方に伺います
 ・どのくらいの頻度で見ますか

| | |
|--------|-----|
| 月に1~2回 | 17名 |
| 月に3~4回 | 7名 |
| 月に4~5回 | 1名 |
| 週に1~2回 | 1名 |
| 週に3~5回 | 1名 |
| 年に1~3回 | 3名 |

・今までにホームページを見たことがありますか



「ある」と答えた方に伺います
 ・どの内容をみますか、複数回答でお願いします

| | |
|---------------|-----|
| 碩心会から詩吟の世界を覗く | 25名 |
| 詩吟と詩舞 | 26名 |
| 碩心会創立75周年記念大会 | 22名 |
| 機関誌 | 4名 |
| 吟詠探索虎の巻 | 4名 |
| リンクページ | 3名 |
| その他 | 4名 |

・内容について伺います

| | |
|-------|-----|
| 非常に良い | 4名 |
| 良い | 26名 |
| 普通 | 10名 |

いくことが重要だと思えます。皆様よりお寄せ頂いたご意見を真摯に受け止め、広報部一同一層努力してまいります。 伊藤

~~~~~

サーフィンと「浪子不動」

真澄支部 星野 岳輝

内山先生から「レッツ詩吟で使いたいから逗子と分かる短歌を作って。」と言われたのは昨年の10月末でした。私に出来るかなと思いましたが、直ぐ胸に浮かんだのは逗子在住の文豪徳富蘆花の名作「不如帰」の一場面でした。明治33年この小説が発表されるや大変な評判となり、新派に映画に歌にと、万都の子女の紅涙を絞ったと云われています。その中の名場面、新婚間もない海軍士官武男と新妻浪子が、逗子の浜辺を睦まじくそぞろ歩き勿ら「千年も万年も生きたいわ」と武男に云ったのでした。けれども浪子は結核に冒され姑に離縁され果かない生命を閉じたのでした。逗子の海岸に「浪子不動」が有りますが、夏訪れると幸せそうな若い人達が歓声をあげて、サーフィンを楽しんでいます。悲しいこの二人の物語は遙か遠くになってしまいました。

「サーフィンの 若き等集う 逗子の海  
 武男と浪子の 悲話遠かなり」

## 第16回碩心会夏季吟道講座

標記吟道講座は8月24日(土)、葉山町福祉文化会館で開催された。この夏は八月の気温が40℃を超える地方もあるほどの炎暑。然しは言え、吟道研鑽は夏休み中といえども学習は欠かせないと参加者は100名に及ぶ。

挨拶で内山会長は「長年講師を務められてきた加藤岳洵顧問が退かれ、嶋原隆岳師範が講師陣に加わり、外部講師として田中岳凛神奈川吟和会会長をお迎えした」と紹介、また「今年4月に改定された相州岳風連合共通の審査課題吟集の習得、特に和歌吟詠の吟法變更に対応して習熟して欲しい」と話されて開講―受講者は耳目を集中する。

## 第一講 嶋原隆岳師範

不識庵機山を撃つく・楓橋夜泊

## 第二講 上村岳章副会長

ふるさとの山・武蔵の国の歌

## 第三講 田中岳凛神奈川吟和会会長

やれ打つな・うしろ姿の

## 第四講 内山岳青会長

富士の山を望る歌一首并せて短歌

漢詩、和歌、俳句、自由律俳句、長歌・反歌を担当された先生方が夫々の吟じ方の要点、作者と背景を解説され、質疑応答に続く4時間30分は充実の一日であった。 常盤

## 平成25年夏季吟道大学講座

標記大会が平成25年7月27日(土)・28日(日)の両日日本教育会館で行われ、本年度から「吟士」の資格を有する者のみ参加可能となつて80名の会場は満杯の状況でした。

木部理事長の啾啾吟2巻199では当初の「知者」は、餘韻で止まっていけない。「不惑」は確実に止める必要がある。詩吟は自分に聴かせるもので、聴いて頂くものである。

大山岳莊講師から吟道について本来詩は文学であり、声は音楽であり、心は哲学である。この三つの要素が調和して三位一体となるとき、即ち文学的・音楽的・哲学的内容が一つに抱含され、内在する精神力によつて声という表現手段をもつて、瞬時に発揚されるとき、その吟声は大いなる感動を伴つて、聴く者の心に共鳴し、悠久の歴史に遊び、先哲の訓えに接し、人格の陶冶、そして完成へと導かれて行くのです。詩吟は実践の哲学です。

吉岡岳東講師から「おくのほそ道より大垣」の講義があり、奥羽北陸の各地をめぐり最後に大垣に到着し、そこで多くの門人に迎えられて感謝の気持ちを伝える紀行終末分です。芭蕉は大阪南御堂で亡くなったが、死後、遺言により近江国にある木曾義仲の墓と並んで建っている旨がありました。 高見

## 神奈川岳風連合会吟詠大会

長柄支部 石井岳虹

記録的な猛暑が続く8月18日(日)、横須賀文化会館大ホールに於いて、第21回標記大会が19団体の会員に依り盛大に開催され、碩心会より男性9名女性16名が合吟、独吟、連吟コンクール、詩舞、に参加しました。

青壮年、少年少女の吟詠に圧倒され、20名の幼稚園児の可愛らしい合吟に会場から大きな拍手が起こり和やかな雰囲気になった。将来が楽しみです。連吟コンクールではさすがにどのチームも迫力ある素晴らしい吟に会場全体が緊張して聴き入っていました。構成吟「鎌倉残照」は映像、ナレーション、吟、舞、で鎌倉の歴史を再現しとても感動的でした。

最後に連吟コンクールの入賞者発表があり、一位、湘南吟詠会。二位、さがみ岳風会。三位、聖吟会。努力賞二チームあり湘南吟詠会、神奈川吟和会でした。

講評では作者名から吟に入るのが早い、腹式呼吸をし二句三息で母音に返す、助詞を丁寧にはつきりと等の注意がありました。「全体に元気があり吟する態度もよかった」「コンクールでは常連でない新しチームが入賞してよかった」との感想を頂きました。

# 亡き師を偲んで

悠吟支部 小野 岳 祥

告別式の後「父が詩吟でこんなに偉い人とは知りませんでした」と喪主が話されました。本部より追贈（吟宗）の証状をわざわざお持ち頂き、他会の重立った方々や、内山会長をはじめ多くの碩心会の方々が参列して下さいましたこと悠吟支部一同心より御礼申し上げます。先生の詩吟に対する熱意と功績をあらためて感じさせられた日でした。

千葉先生は平成7年11月1日付で悠吟支部の担当師範になられ、それから17年有余のお教えを受けたわけですが、始めは難しい詩吟の講義を延々とされ、正しい吟法を自ら吟じられる時間がとても長く、いざ私達が声を出すと一節ごとにダメ出しをされ、先生が吟じて見せられるので、それまで前の先生の自由に楽しく声を出して、詩吟とはそれで良いと思っていた私達は戸惑い悩みました。



H24 新年会（お元気な千葉先生と）

先生の吟に対する熱心さと生真面目な性格

## 第33回 碩心会温習会 会計報告

| 科 目     | 決算額 (円) | 適 用             |
|---------|---------|-----------------|
| 大会補助金   | 45,897  | 本部より補助金（含補填費）   |
| 収入の部    |         |                 |
| 出吟料     | 163,000 | 1,000×163名      |
| 懇親会     | 117,000 | 1,000×117名      |
| 来 賓     | 6,000   | 3名              |
| 寄付金     | 10,000  |                 |
| 合 計     | 341,897 |                 |
| 支出の部    |         |                 |
| 会場費     | 33,320  | ホール、大会議室使用料     |
| 弁当代     | 109,200 | 弁当、お茶           |
| 飲食費     | 87,171  | 飲み物、オードブル、その他   |
| コンクール経費 | 16,759  | トロフィー、参加賞       |
| 傷害保険    | 4,238   |                 |
| 文具・印刷費  | 52,577  | プログラム、表彰状、その他   |
| 謝 礼     | 7,000   | 朗読、お車代          |
| 雑 費     | 31,632  | 会議費、来賓喫茶、運送、交通費 |
| 合 計     | 341,897 |                 |

が徐々にわかってきた一同は自分達なりに精一杯努力して今日までついできました。94歳まで生きられた人生の師としてもとても尊敬しております。先生はいつも前向きで勉強家でいらつしやいましたが、先生のお考え通りにならない不肖の弟子も最後までほとんど欠けることなく続けてこられたのは偏に先生の吟に対する熱意と愛すべきお人柄の故だと思えます。心よりご冥福をお祈り申し上げます。合掌

## 会員のうごき

### \*入会 (9月1日付)

220 うえもと きとこ 上本 里子 (幸和)  
横浜市戸塚区信濃町 545  
☎ 045-822-4454

### \*退会

132 高森瑛山 (真名瀬) 139 有島光山 (澗朗)  
184 笠川 襄 (東伏見) 204 小林由子 (松和)  
207 小川時子 (松 和) 211 大久保鈴 (松和)

## 編集後記

2020年夏季五輪・パラリンピックの東京開催が被災地復興への思いが通じたのだ。スポーツは文化であり道、詩吟も然り。道は自分だけで極めるものではなく第三者が是としなければ道にならない。詩吟を通して心身を鍛え人間力を養いたい。

広報部

|           |      |
|-----------|------|
| 25年9月1日現在 | 会員数  |
| 葉 山 地 区   | 81名  |
| 逗 子 地 区   | 116名 |
| 合 計       | 197名 |

“みんな”で増やそう新会員